

中国・四国地区合同例会開催

平成23年10月24日、ホテルグランヴィア岡山において、中国地区会(代表幹事：森俊之、(株)岡山情報処理センター 代表取締役社長)と四国地区会(代表幹事：村上道照、(株)ウイン 代表取締役)の合同例会が開催された。参加者はシステムエンジニアリング岡山の会員も含め40名。

冒頭、平成23・24年度のJISA理事及び地区会代表幹事に就任した森中国地区代表幹事から、来賓及び参加者への謝辞のあと、「本年度は東日本大震災や世界各地で災害が発生しているが、東日本に比べ西日本には影響は軽微である。本日は皆様にとって有意義な会合にさせていただきたい」と開会の挨拶があった。

続いて、中国、四国地区会担当のJISA島田俊夫副会長が、「厳しい環境であるが、副会長として業界発展のため努力したい。また、中国、四国地区会の皆様とともに地域活性化のため頑張っていきたい。さらにはJISAが示している構造改革をできる限りの範囲で実感ができるようにしていきたい。地産地消が重要であるが、苦しい時こそ地産しながら世界を見据えて一緒に考えていきたい」と挨拶した。

議事に入り、最初に経済産業省商務情報政策局情報処理振興課・古川武秀係長から、経済産業省の情報政策として、融合新産業の創出の概要、情報サービス産業の現況及び今後の課題等について説明があった。

河野副会長・専務理事から、JISA活動状況として、最近の業界動向(特サビ動態統計、実態調査等)、枝野経済産業大臣と電子・情報・通信関連産業界との懇談会開催、平成23年度情報化促進貢献個人等の表彰(JISA関連)、JISA Awards2012の実施、JISA新会員証、国際会議の報告、東日本大震災に対するJISAの対応、電力需給対策等の報告があった。

休憩をはさみ、吉備国際大学社会学部スポーツ社会学科講師、同大学女子サッカー部総監督の高藤順氏による「なでしこJAPAN優勝とわが国の女子サッカー史の変遷」と題して講演が行われた。高藤氏は、日本と欧米のスポーツ発展の比較、女子サッカーのあゆみ、国際サッカー連盟(FIFA)及び日本サッカー協会(JFA)の取り組み等について、特に小学生からの育成が大事であると熱く話した。

(菊池)